

(株) NAMUE のプライベートレッスンに参加して

渡辺正幸(くるみバレエスタジオ)



濃密な2時間

2017年2月22日に名古屋の(株)NAMUEで個人レッスンを受けてきました。今年5月にあるNAMUE主催の「大人の発表会」(仮称)のための準備の一環として参加しました。

講師は前原寛子先生。男性の茂木先生は生憎の熊本出張でご不在。予定時間の30分前にスタジオに到着し、早速着替え、床の掃除。雑談をしながら軽くストレッチ。そんな時、なんと(株)NAMUEの理事長が見学に来られました。しっかりと1時間近く個人レッスンの様子をご覧になっていました。

最初の1時間はバーレッスンがメイン。プリエ・タンジュ・ジュッテ・フォンジュ・グランバットマンと続きました。実は、バーレッスンは、バリエーションの前の軽いウォーミングアップ程度に考えていましたが、私の体の使い方、くせ、間違い、などを的確に指摘してもらい、大変役に立つレッスンでした。これからのバーレッスンに対して、意識改革をするほどのインパクトがありました。

バーレッスンをおろそかにしない

バーレッスンで指摘を受けたことを、帰りの飛行機の出発前に記憶が薄れる前にレッスンノートに書き留めました



「そこ、手が反対!」と笑いながら指摘されています



(超) 一流の経歴をもつ講師による指導

プリエ・タンジュ



プリエのとき、肘が曲っている、背中が丸くなっている、音を十分にとりなさい。タンジュは体が開くときがあり、きっちり上体と足を締める、一番ポジションを必ず通過しなさい。実はこれらの指摘は日常からくるみバレエスタジオの先生方から指摘される内容と全く同じ！

バーレッスンは舞台に繋がる

バーレッスンの大切さを痛感した今回のレッスンでした。胸の前の空間を広く使いなさい、遠く2階席を見るようにしなさい、上体は噴水のように胸の上からカンブレしなさい、などバーレッスンの時からビデオ録画してもよかったくらいでした。



ピルエット特訓

センターレッスンでは、トンベ・パドブレ・ピルエットの特訓。折角のバーレッスンの成果がセンターに出ないと痛切な指摘！プレパレーションの4番ポジションの時、足が動き、上体も肩に力が入っている。前原先生が、目の前で軽くダブルやトリプルピルエットの模範演技。軸足に乗り、上体に力をいれなければ簡単に回れることを示してくれました。

いよいよバリエーションの稽古

今回の一番の目的は「白鳥の湖3幕のジークフリート王子のバリエーション」の稽古。くるみバレエの長先生や藤原先生からもご指導を受けています。今回、前原先生からも指導を受け、よりバリエーションに対する思いが熱くなりました。



なるべくオリジナルに忠実にありたい

YouTube で何度も見たセミオノワとフリードマンのパドドウ。フリードマンのバリエーションは気品があり、憧れの的。ゆっくりとした踊りで、これなら自分でもできるかも？と大それた野望！自分の技量や体型から程遠いバリエーション。でも、踊ってみたい！福岡から遠く離れているので、失敗しても誰も見てない！など、気楽な気持ちでエントリーしました。



音に合わせてクリアに

何でも出だしが肝心。上手でプレパレーションして左右に腕を出し、これから踊りますという合図。そして最初の片足ルルベ。音を十分にとってから、右足ジュッテと続きますが、音に合わせる事が大事。気持ちがせっかちでいつも音は前取りでしたが、気をつけます。最初の音に乗れば、あとは気分良く、、、といきたいものですが、、、



最大の難所、アントルラッセ

見せ場の一つにアントルラッセ2回があります。一度大きくアラスゴンドにして軸足を変えてからアラベスク。フリードマンは簡単にしています。手は2回ともアンオーですが、これをアナバンにすると回れる！これは時間をかければ何とか出来そうと希望の光が見えました。



今回の個人レッスンに参加して

福岡から名古屋の飛行機弾丸日帰り個人レッスンは夢のような2時間でした。海外でレッスンを受けた経験もありますが、国内で(超)一流の経歴をもつ講師にレッスンを受けたことは、これまでの18年のバレエ人生で最も印象に残る経験の一つでした。レッスンでは、理事長はじめスタッフの方も同席され、またレッスンビデオも撮って頂きました。普段大変お世話になっているくるみバレエスタジオの長先生はじめ、今回の(株)NAMUEの関係者に心から感謝いたします。発表会、勉強会頑張るぞー！

